

令和4年度（2022年度）北海道・アルバータ州高校生交換留学促進事業

留学生現地レポート

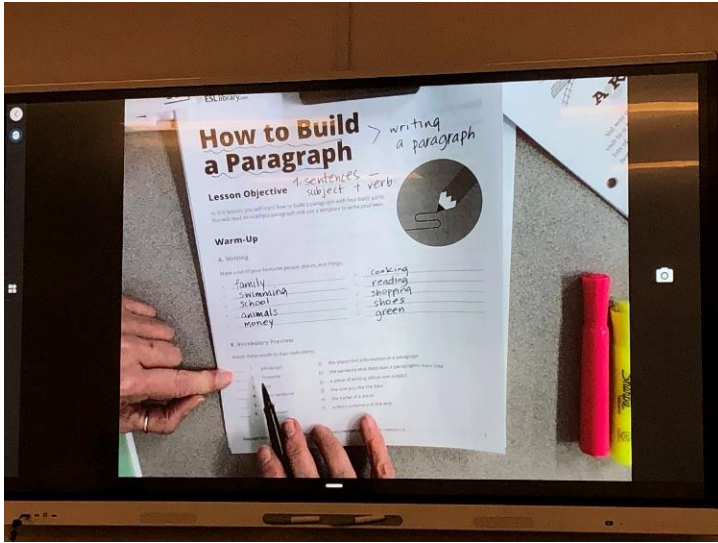
I FOUND THE DIFFERENCE!

Hokkaido/Alberta student exchange program 2022-2023



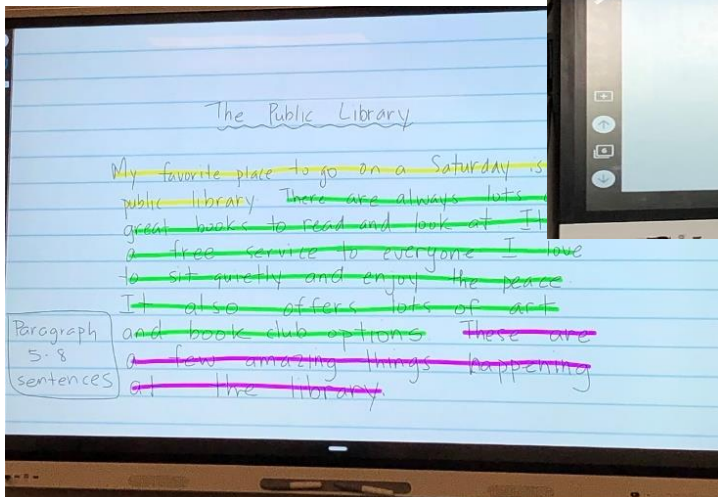
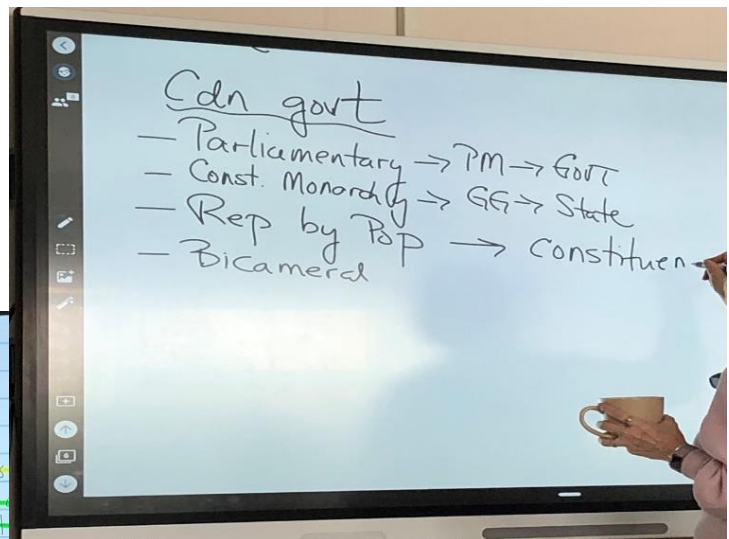
令和5年（2023年）3月22日発行
北海道教育庁学校教育局高校教育課

★ 学校の ICT 化



学校の授業では、プリントを実物投影機でスクリーンに映したり、スクリーンに書き込んだり、黒板やホワイトボードではなくスクリーンを多用していました。

スクリーンが文字でいっぱいになったら、一瞬で消すことができますし、黒板の粉で服が汚れる心配がないと思いました。ここまで ICT 化が進んでいることに驚きました。



余談～車のアンサーバック～

日本製の車は鍵を閉めるとき、「ピーッ」などの機械音が鳴りますが、私のホストファミリーの3台の車は全てクラクションのような音が2回鳴ります。私のホストファミリーの車だけかと思いきや、どの車もこのような音が鳴っていました。結構大きな音があるので、毎回驚きます。

★ エドモントンのスーパー

私はカナダに来て日々新たな発見をしながら生活してきました。そのなかでも、日本にもとても身近にあるスーパーについて書こうと思います。

カナダのスーパーではお肉、魚、お惣菜は必要な分だけ専用カウンターで頼むという形式になっています。そのようにしているのはゴミが少なくなる、食材が無駄にならないからというメリットがあるからです。そして、牛乳パックやお菓子の袋など1個1個の大きさがとても大きいです。そのようにすることで資源の無駄遣いが抑えられます。



他にも、たまごパックが日本ではプラスチックが主流となっていますが、カナダでは紙で作られています。プラスチックで作られたパックはリサイクルができないなど問題点がありますが、紙パックにすることでプラスチック問題の対策となっています。

カナダは自然環境と資源に依存しており、地球に破壊的な影響を与えていると言われており、しっかりと資源効率を高め、持続可能なライフスタイルの促進にも努めているということを強く感じました。



★ カナダのバス停



カナダのバス停

カナダではそもそも日本みたいに交通公共機関が張り巡らされているわけではないそうです。一応カルガリーはカナダ第2の都市と言われ日本で言う大阪みたいな感じですが、そんなにバスや電車を見かける機会はありません。カナダの土地面積はロシアに次いで世界第2位ですから土地がものすごく広いのと、それに比べてカナダの人口は約3000万人と日本の約3分の1とものすごく人口密度が小さいのです。また、カナダにはロッキー山脈などのデカイ山々がありますから車で移動した方が遥かに便利だったりするのです。その代わりと言ったらなんですけど、トヨタやホンダなどと言った日本の車をよく見かけました！ちょっと嬉しくなりましたね。

二つの真を見て何か違和感を感じませんか？そうですね時刻表がないのです！

「じゃどうやってバス来る時間確認するの？」あなたはきっとそう思うでしょう。バスがいつやってくるかの確認方法は、バス停の看板の下の方に番号があると思うんですけど、その番号と到着地のバス停の番号をSMSで宛先を33333にして送ると、最新のバスの時刻表が送られてくるシステムになっているらしいです。また、最近だとGoogleマップなんかで今バスがどこら辺を走っているかを確認できるらしいです。家などのWi-Fi環境が整っている環境で確認する方法だとTransLinkというWebsiteで見れるらしいです。なんともスマホがある現代らしい発想ですよ。ちなみにカナダの友達に聞いたところ、そもそも定刻通りにバスがやってくる日本が異常らしいです。



日本のバス停

★ 学校生活の違い・多文化社会・ショッピングモールの広さ

・学校生活の違い

授業の長さは1コマ75分で、1日4コマあります。

カナダの学校では授業の幅が広く、デザインやギターからリーダーシップや料理など様々な選択肢があってその中から選ぶことができます。そのため、教室がとても多く、校舎も広いので迷うことがたくさんありました。

・多文化社会

私がつとた英語の授業では色んな国の人がありました。それぞれ英語をすごい速さで喋るのだけれど、よく聞いたら文法が少し間違っていたり、なまりが強い人もいました。けれどみんなそれで会話を楽しんでるしお互い気にしていないので、自分が文法や発音など完璧に喋ろうと気にしすぎてたなと感じました。さらに文化がそれぞれ違うので、誕生日の話題やイベントの話題でも様々な違いがあって驚きました。

・ショッピングモールの広さ

私はホストファミリーとウエスト・エドモントン・モールというところに行きました。そこにはたくさんのお店と施設がありました。2階しかないんですが、すごく広くてプールや映画館、室内スケートリンクなどもあり、ホッケーの練習試合も見ることができました。日本ではプールなどの施設がたくさんあるモールを見たことがなかったので圧倒されました。



★ カナダの公共バス事情

カナダでは、バスが公共交通の主要部分を占めています。私がホームステイしているエドモントンのバスは青色で、中は日本のバスよりも席が多く、広く感じられます。特急のバスも存在していて、そのバスは2車両が繋がっていて、とても長いです。

バスに乗るときは私たち学生であれば IC カードを機械に読み取らせるのではなく、月ごとに買うことができる『YOUTH MONTHLY PASS』というバスのパスポートを直接運転手に見せます。途中でバスを降りたいときは、日本のバスのようにボタンを押すことで『Stop Request』をすることもできますが、窓の縁にある黄色い紐を引っ張るという方法でもできます。バスから降りるときは、必ずとっていいほど乗客は運転手に感謝の言葉を伝えてから降りています。

また、ホストファミリーとカルガリーへ旅行に行ったときに、高速でバスを見かけないと感じました。日本の高速では高速バスや観光バスがたくさん走っていますよね。その理由を尋ねると、カナダでは日本のようにバスで街と街をまたぐような移動は出来ず、街中の移動のみに使われているそうです。



★ バスの中にある黄色いひも

私がカナダで乗っていたバスは、ボタンも何個かついていましたが、一本の黄色いひももついていました。

そのひもは、前方の器具まで繋がっていて、手をかけて引くと音が鳴る仕組みです。降りたいバス停の時、みんなそれで知らせていました。日本ではみたことのない光景だったので面白いなと感じました。

★ シャワー

私は、シャワーの出し方に少しだけ苦戦しました。回す部分が一個しかなくて、シャワーへの切り替え方が全然分かりませんでした。どっかを引っ張ったりして切り替えるところがついてるそうです。

この写真のシャワーは、蛇口の水が出る部分を引っ張りながら回すとシャワーに切り替わります。止めるとそれは元に戻るなので、出したいときは毎回する必要があります。



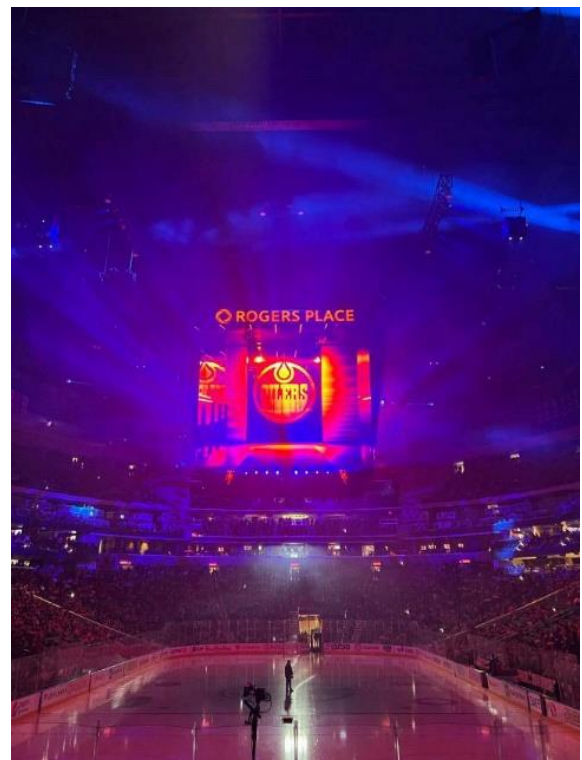
★ 「カナダ国民とスポーツへの熱気」



皆さんの想像通り、カナダの冬はとても寒いですが、ただ、そんな厳しい季節を熱気に包むものがあります。スポーツです。寒国カナダを語るのに特にアイスホッケーは欠かせないでしょう。私のホストファミリーは、エドモントンオイラーズというチームの熱狂的なファンです。私を試合観戦に連れて行ってくれました。

会場はまるでパーティーのようで、音楽が大音量でなっていました。私はたまにスポーツ観戦をするのですが、日本とは違う雰囲気を感じられました。国歌斉唱では小さい子からお年寄りまで全員が大きな声で歌う光景に感動しました。試合中は様々な演出で観客を楽しませ、盛り上げる工夫されています。試合中には流行りの音楽や有名な音楽をみんなで歌ったり、心臓の音で緊張感を演出したりします。休憩時間には、空から降ってくる本物のピザをめぐって争奪戦が起きます。みんな必死にピザを追いかけていました。また、運が良ければバズーカから撃たれるTシャツを手に入れることもできます。休憩時間も楽しめる工夫が面白かったです。

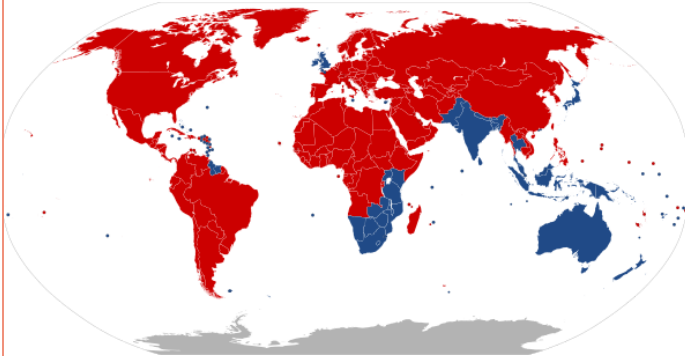
日本ではあまりメジャーな印象のないアイスホッケーですが、実際に観戦すると、選手が激しくぶつかり合ったり、ものすごい速さでパックが飛んでいたり、とても迫力満点で最高に熱いスポーツでした。



★ カナダの道路の仕組み

①基本的なルール

カナダでは、日本と異なり、右側通行が原則です。そして、車のハンドルは左側にあります。このルールは、北アメリカ諸国のみならず、世界的に一般的です。



世界の通行方法

青色：左側通行

赤色：右側通行

出典 <https://ja.wikipedia.org/wiki/%E5%B7%A6%E5%81%B4%E9%80%9A%E8%A1%8C%E3%81%AE%E5%9B%BD%E4%B8%80%E8%A6%A7>

ここまでは日本でも有名ですが、赤信号でも右折が可能であることはご存じでしょうか？こちら世界では意外と多いルールですが、最初は驚きました。

また、自動車の運転免許は16歳から取得でき、私のパートナーも運転免許を持っています。そして、私のパートナーは、毎朝自分で車を運転して通学しています。危なげなく、しっかり左右確認を怠らず、スムーズに運転できます。このような通学方法は、日本との違いと言えるでしょう。

②高速道路と一般道路

カナダでは、高速道路と一般道路を区切って呼びません。例えば、アルバータ州道2号は、高速道路と一般道路の両方の部分があります。

また、農村部を抜ける一般道路では、速度制限が100km/hなど、高速道路並みの速度を出ることができる箇所が多くあります。これは、都市と都市の間の距離が長く、かつ、広大な面積に対して人口が少なく、車の密度も低いというカナダの特徴を映しているといえるかもしれません。

市道にも、必ず名前がついており、標識も存在します。これは、住所を示す際に道路名を利用することが理由でしょう。エドモントンの場合は、札幌のように、道路に番号が付けられています。私がいる街であるセント・アルバートの場合、地区ごとに道路名の頭文字が決まっています。とある場所へ行くと、Aから始まる道路名ばかりです。

このように、異国の道路を利用しようとする、初めは迷うことも多いですが、一度法則性を発見したら、かなりスムーズに、面白い旅にすることができます。



★ St. Alberta の水曜日

セント・アルバート市内では水曜日はどこの学校（小学校、中学校、高校）も授業が早く終わります。通常は 80 分の授業が 4 コマ、ランチタイムが 1 時間で、14 時 30 分に終わりますが、この日は授業が 1 時間、ランチタイムが 40 分に短縮され生徒は早く帰宅します。生徒たちは出かけたり、家でのおんびりしたりします。その間先生たちは会議を開いて学校生活などについて話し合うそうです。

私の学校では 12 時 50 分に学校が終わり、パートナーとカフェに行ったり、祖父母の家を訪れたりゆったりとした時間を過ごせました。週の真ん中なのでリフレッシュしてまた次の日から頑張れるし、先生たちもミーティングをゆっくり開けるので良い制度だと思いました。私の住んでいる旭川でもこの制度を取り入れてほしいです。

École Paul Kane High School
17 Cassagbang Road, St. Albert, Alberta T8N 2E9
Phone: 780-449-4445 Fax: 780-449-0181
Email: paul.kane@epkhs.ab.ca Website: epkhs.ab.ca

From: Nicole, Principal
To: Culture, Leadership, Student Personal, Career, Health, Assessment Practices, Equity, Citizenship, Associated Organizations

At Paul Kane High School, students are asked to please identify a safety and security concern in school or on campus. You may do so by email to paul.kane@epkhs.ab.ca, or by calling the school.

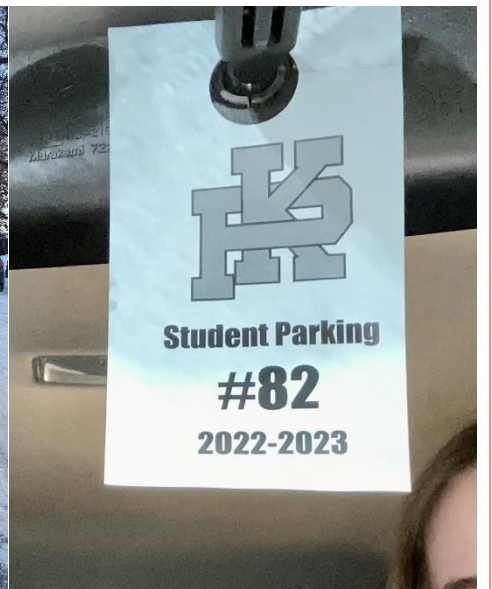
Mon, Tues, Thurs, Fri	Day A Classes	Day B Classes
8:00 - 9:20	Art Mrs. Hewitt Rm 1026	Art Mrs. Hewitt Rm 1026
9:20 - 9:25	Break	Break
9:25 - 10:45	General Music Mr. Reis Rm 1065	General Music Mr. Reis Rm 1065
10:45 - 11:45	Math 20 Mrs. Djogovic-Steele Rm 1139	Math 20 Mrs. Djogovic-Steele Rm 1139
11:45 - 1:05	Break	Break
1:05 - 1:40	ESL Ms. Mazurek 2016	Phys Ed 30 Ms. Hryciun Rm Gym
1:40 - 2:30	Student Support Block	Student Support Block

Wed	Day A Classes	Day B Classes
8:00 - 9:00	Art Mrs. Hewitt Rm 1026	Art Mrs. Hewitt Rm 1026
9:00 - 9:05	Break	Break
9:05 - 10:05	General Music Mr. Reis Rm 1065	General Music Mr. Reis Rm 1065
10:05 - 10:45	Math 20 Mrs. Djogovic-Steele Rm 1139	Math 20 Mrs. Djogovic-Steele Rm 1139
10:45 - 11:45	Break	Break
11:45 - 11:50	ESL Ms. Mazurek 2016	Phys Ed 30 Ms. Hryciun Rm Gym
11:50 - 12:50	Student Support Block	Student Support Block



★ 登校

多くの生徒が車に乗って登校しています。私の学校では十分な駐車スペースがないため、多くの人々が学校の近くの住宅街に駐車し、そこから少し歩いて登校しています。最初見たときは路上駐車をみんながしていると思って驚きました。また、住民の人とのトラブルなどは起きないのかと疑問に思いました。ですが、車で通学する生徒には学校の生徒の車であるという証明書が渡され、それがあれば住宅街に車を駐車して良いそうです。もしその証明書がない場合、路上駐車と同じ扱いで罰せられます。住民と学校や生徒との信頼関係で成り立っている制度だと思います。



日本では車の免許が取れるのは 18 歳なので自分で運転して通学することはないと思います。ですが、もしも日本で高校生が通学に車を使うようになったらこの制度は、学校に十分な駐車スペースがないと思うので必要だと思います。

★ ショッピングモール

私はウェスト・エドモントン・モールというショッピングモールに行き、日本のショッピングモールとの規模の違いに驚きました。

ウェスト・エドモントン・モールはプールやジェットコースター、メリーゴーランドが併設されていたり、アウトセイがいたり、ゴーカートができたりとテーマパークのような雰囲気です。敷地もとても広く、幅広い種類の店が並んでいます。何か買いたいものがある時、ウェスト・エドモントン・モールに行くとたくさんの商品があるのでとても便利で、また楽しめると思います。

私がウェスト・エドモントン・モールに行った時にはアイスホッケーの試合が行われていました！

